

発行所: 有限会社 西川工務店
松阪市町平尾町164-3
TEL 0598-51-7040
FAX 0598-51-7140
URL <http://www.nishikawakoumuten.com>

ガーデンリフォーム

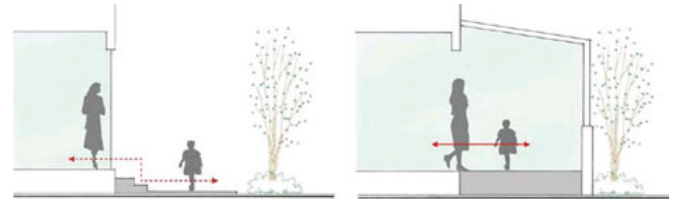
明るい日差し、心地いい風、草花に囲まれたガーデンライフ。
気のあったお友達、家族や親戚と時には庭に出て食事を楽しんだり、お庭を積極的に活かした快適な住まいの空間として活用したいものです。
狭い敷地でも、長年あまり活用できなかったお庭でも、有効に活用できるお庭にできます。

ウッドデッキ

居室からスムーズにお庭へつながる空間として、ウッドデッキは最適です。
雨をしのぐ屋根としてテラスをつければ半戸外空間として家族団欒の場として最適です。
最近ではメンテナンスが楽な人工木材のデッキも人気があります。LIXILの人工木材のウッドデッキは木粉を50%含んでおり自然な風合いが魅力です。また湿気で腐ったりシロアリによる食害の心配もありません。
お手入れは水洗いで大丈夫。小さなキズであれば紙やすりで簡単に補修できます。



屋根があれば強い日差しや少々の雨にも安心



居室とお庭の段差が無くなり、出入りがスムーズに

ガーデンルーム

デッキやタイルテラスなどをさらに快適な空間に進化させたのが、ガーデンルームです。
ガーデンルームならパネルが開閉できて寒い日や雨の日でも、あるいは風が強い日でも使用できる快適空間が実現でき、365日いつでも楽しめます。



何もなかったお庭



何もなかったお庭に
タイルテラスを造って...



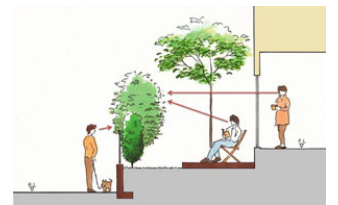
ウッドデッキのイメージ



ガーデンルームのイメージ

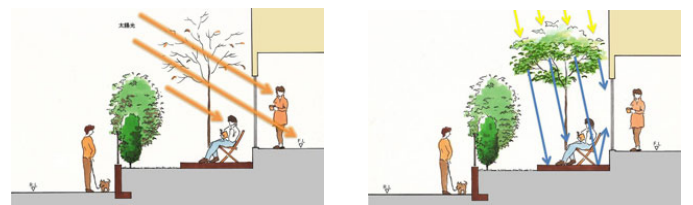
1. プライベートの確保

使えるお庭にする為には、外からの「視線」を上手にカットする必要があります。
お隣の窓(特に2階から)や道路からの視線をコントロールするのですが、あまり隠す事に気をとられると通風や採光性が悪くなったり、圧迫感が出てしまいます。植栽を上手にプランに取り入れられれば、視線を遮りながら気持ちのいい空間にできます。視線を遮るにはやはり常緑樹を植えたいですね。機能やデザインを重視されるのであればフェンスが適しています。



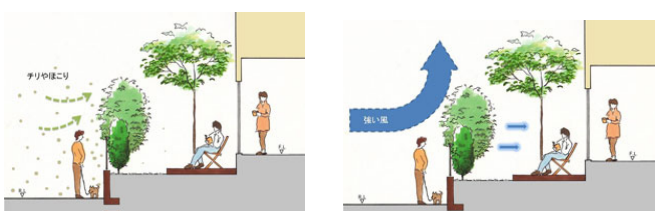
2. 自然の力を利用した快適性の確保

落葉樹を植える事で、夏の強い日差しを遮り心地よい日陰を作る事ができ、家の中への日射も遮るとともに、地面に反射して発生する輻射熱を抑えます。逆に、冬には葉が落ちて暖かい木漏れ日を敷地に取り入れる事ができます。
自然の力を利用しているので、冷暖房機器に頼る事が減り、それなりの光熱費節約効果が期待できます。敷地内に注がれる日射角度に応じて木の高さや大きさを考えましょう。



3. 風をコントロールする

密度の高い植栽は風を遮断し、粗い植栽は風速を弱めます。この特性を利用して、生け垣や植栽の高低と配置を工夫すれば、家の中に爽やかな風を取りこんだり、冷たい風を遮断する事ができます。又、風によって運ばれる砂や塵が家の中に浸入する事を防げますので、家事負担の軽減にもつながりますね。



新築・増改築は
もちろん、キッチンや
トイレの改修など
ちょっとした事でも
お気軽に

定休日のご案内

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

※丸の付いている日が定休日です。